



じゅうじょう きたちく 十条北地区 ぼうさい 防災クイズラリー



こたえあわせ

もん せいかい
なん問 正解したかな？



Q1 上五防災ふれあい広場には、いろいろな防災用の施設がありますが、この写真のベンチの名前は何でしょう？

こたえ

かまどベンチ



上五防災ふれあい広場は十条北ブロック部会のワークショップを経て令和元年12月に開園しました。公園内にはソーラー発電ができる照明灯、防火貯水槽などの設備があります。

Q2 西が丘三ツ和公園の地面の中には、火事がおこった時の消火に使うための水をためる施設があります。どのくらいの水がためられるでしょう？

こたえ

140m³

(100m³ + 40m³)

公園内には、2つの貯水槽が地下に埋まっています。貯水槽のふたは親子蓋になっています。40m³の貯水槽はホース1本で約60分間放水できます。

防火水槽：消防隊や消防団が火災の際に消火活動を行うために使用する水を貯めておく設備

防災貯水槽：大規模地震の発生時に予想される同時多発火災の初期消火に対応するための設備

Q3 ここの階段の上と下では、どのくらいの高さの差があるでしょう？

こたえ

約2～3
メートル

(0.16～0.18m×13段=2.1～2.3m)

上十条北地区は、旧北耕地川の起伏にとんだ地形にあり、その差が最も高いのは約17メートルです。
最も高いのは王子第三小学校あたりで約24m、最も低いのは旧北耕地川の旧清水小学校あたりで約7mです。

Q4 これらは主要生活道路C路線(地図の◀→)にあたる、昔の写真です。ここに流れていた川の名前は何でしょう？

こたえ

北耕地川(きたこうちがわ)

※または、稲付川(いなづけがわ)ともいいます

北耕地川(きたこうちがわ)と呼ばれた水路は、石神井川の水を分けた灌漑(かんがい)用水でした。昔は毎年夏になると2～3回は氾濫していたといえます。
昭和33年ごろに、住民の要望により改修工事をした記録が残っています。令和6年10月に北区の区道となりました。



Q5 十条仲原四丁目児童遊園のすべり台の下には、あるものを再利用して作ったクッション材が敷かれています。何を再利用しているでしょう？

こたえ

木(き)



中央公園にある「緑のリサイクル施設」では、公園の樹木を剪定した時に出る剪定枝葉を粉碎してウッドチップや土壌改良材にしています。このうち、ウッドチップは遊具の下や花壇などに利用しています。